

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 現場改善の挑戦を追う



Vol. 57

製造現場の働きやすさ向上へ、 スクール事業を活用



ナノメートルという超微細のオーダーでの「ナノめっき技術」を強みに、幅広い分野でめっき事業を展開する清川メッキ工業。同社は、ふくい産業支援センターが行う『福井ものづくり改善インストラクタースクール』に社員を継続的に派遣し現場改善につなげています。その経緯やスクールでの学び、現場へのフィードバックなどについて、専務取締役・清川卓二氏、第1製造部・多田洋氏、石川達也氏、第4製造部・中村駿太氏にお話を伺いました。

DATA

清川メッキ工業株式会社

所在地: 福井市和田中1-414 代表者: 清川卓二氏
事業内容: 電子部品、マグネット、半導体ウエハをはじめとする
各種材料への電解めっきおよび無電解めっき加工
電話番号: 0776-23-2912 URL: <https://www.kiyokawa.co.jp/>



同社HPはコチラ!



専務取締役
清川 卓二氏



多田 洋氏



石川 達也氏



中村 駿太氏

身近な題材も取り上げる ユニークな講座構成

同社は1963（昭和38）年創業で現在、電子、自動車、医療など計6部門でめっき事業を展開。企業理念に「自由なる創意の結果が、大いなる未来を拓く」を掲げ、創意工夫を旨とする精神でものづくりに取り組んでいます。

社員が互いに創意工夫し、働きやすさの向上につながる取組みは「Iビジョン活動」と命名され、各部門で小集団活動が盛んに行われています。社内にある47のチームから提案されるアイデアは年間3000〜4000件。優れた改善提案に対する「ありが

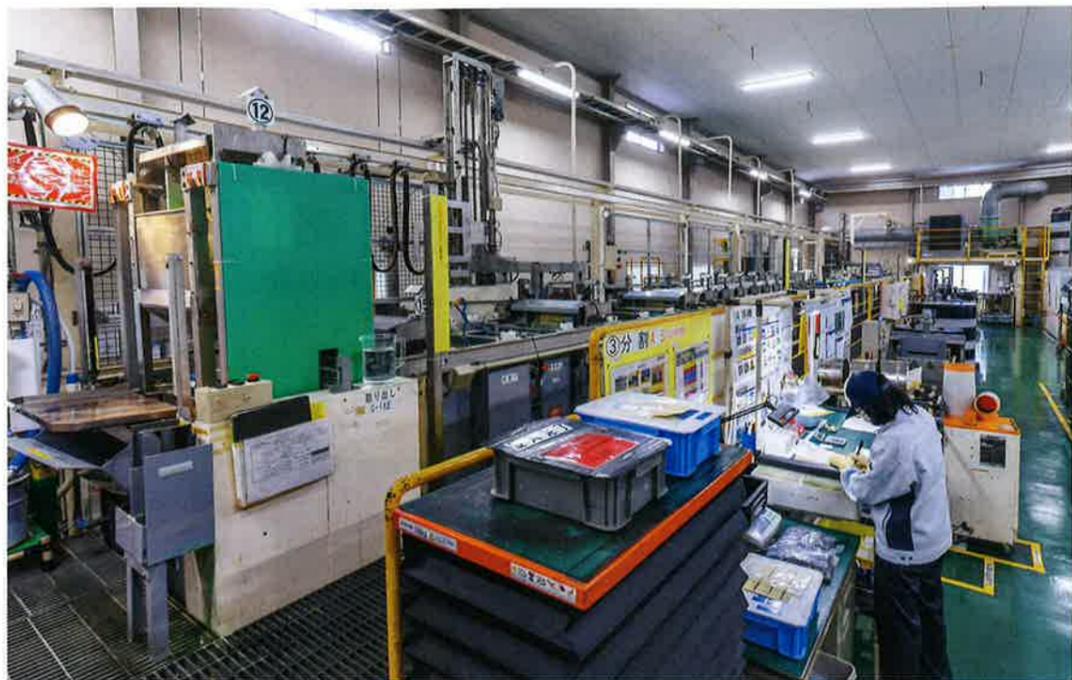
とう賞」というアワードを月次で設け、年間を通して特に優れた事例には経営層が「ベストありがとう賞」も授与。表彰して終わりではなく、PDCAでさらなる現場改善につなげるのが「Iビジョン活動」の特徴です。

ものづくりインストラクタースクール活用もその一環で、清川氏はそのねらいをこう話します。

「社員が創意工夫を重ねたことに対し、正当な評価が与えられることは仕事の達成感につながります。社員各自が挑戦できる環境をつくること、取組みを承認する環境を設ける



国家資格「めっき技能士」も多数の社員が取得している。



中村氏が改善を行った、めっきライン。

がそれぞれ各部門の部課長の推薦で選ばれました。スクールは約3カ月、週1回の日程で進められ、グループワーク

を中心としたプログラムで展開します。ものづくりを掲げるだけに堅い内容かと思いきや、印象に残ったワークにつ

いて尋ねると「チャーハンの作り方をフローチャートに書き出したこと」（石川氏）、「折り紙を折る手順を話した」（中村氏）とユニークな回答が返ってきました。1期生の多田氏がフォローします。「写真や図などを交えた手順書をしっかり作り上げるスキルが現場改善に大きく貢献します。チャーハンや折り紙には、ものづくりの手順を細かく落としこんで観察できるように鍛えるという意図があります」

スクールでの学びを 社内小集団活動に展開

では、中村・石川両氏がスクールでの学びをどのように社内にフィードバックしたかを紹介します。

車載関係を受け持つ中村氏は生産能力向上という現場改善に向け、ライン上を前後に動くキャリア（自動搬送機）の動作を中心に分析。ある処理の前処理にかかる時間が待機時間増につながっているこ

とを突き止め、既存めっき槽の活用やキャリアのプログラム変更により、生産能力を従来の1・27倍に高めることに成功しました。



石川氏が自作したかはん機。以前は手作業で混ぜていた。

一方、電子部品を担当する石川氏は、めっきに必要な薬品の計量・溶解・搬送が手作業で行われていることに着目。パレット図で作業を細分化したところ、薬品補給の順番や、溶解済み薬品の移動にかかる時間や距離がボトルネックとわかることがわかりました。そこで、かはん機を自作し薬品倉庫内に設置。倉庫内で溶解まですませ、ポンプでめっき槽に送るといった改善を行うことで、全体の工程を224分から164分に短縮できました。

社内には展開させていく考えを示します。「これまで現場の目先のことばかり見ていましたが、鳥の目で現場を俯瞰することで改善ポイントが見えました。鳥の目を身に付けることができたのが大きな収穫です」と実感を含めます。

多田氏によると、めっき工程は手作業が多く、省人化が常に現場の課題とのこと。清川氏は1期生からの社員派遣を振り返り、「改善は一朝一夕で実現できるものではなく、継続的で地道な活動が欠かせません。受講企業としてスクールは未永く継続してほしい事業ですね」と要望しました。

CONTENTS

- 表紙 清川メッキ工業株式会社 工場内
- 1 【企業事例①】清川メッキ工業㈱
 - 3 現場改善の挑戦を迫る
 - 5 【企業事例②】ヨシダ工業㈱
 - 7 【企業事例③】㈱CCU
 - 9 【企業事例④】㈱三星
 - 10 現場改善成果報告会の開催内容
インストラクタースクール・派遣事業・
具体化事業のご案内
 - 11 今月の注目企業 ㈱グリーン企画
 - 13 よろず支援拠点 経営Q&A
 - 14 総合相談窓口からのご案内
 - 15 DXデビューしませんか
 - 16 ペンチャー創出プロジェクト
 - 17 上海事務所レポート
 - 19 グッドデザインシンキング
 - 20 インフォメーション
 - 21 新スポット巡礼



中小企業診断士は、
企業という国の参謀なり。

中小企業診断士は 福井県内各エリアで企業を 支援しています。

「中小企業診断士」は、中小企業の経営課題を達成するための診断・助言を行う専門家です。経済産業大臣が登録する、わが国で唯一の経営コンサルタントの国家資格を保持します。幅広い知識や能力を活用し、企業と行政、企業と金融機関を結ぶパイプ役となりながら、公共・民間部門問わず様々な問題に取り組んでいます。

主な相談内容

- 創業・起業支援
- 事業再生・経営改善計画策定支援
- 講師派遣事業
- 福祉・農業・観光に関する研究会
- 各種補助金計画書作成
- 他士業との連携による事業開拓
- 創業を含む各種セミナー
- 診断士を目指す方対象の養成塾
- 各種無料相談会

ご相談方法

お近くの金融機関等にて「診断士に相談したい」と窓口でお伝えください。

福井銀行 / 福邦銀行 / 福井信用金庫 / 越前信用金庫 / 敦賀信用金庫 / 小浜信用金庫 /
福井県内各商工会議所（福井・敦賀・武生・大野・勝山・小浜・鯖江） / ふくい産業支援センター /
福井県信用保証協会 / 福井県商工会連合会 / 福井県内各商工会

生産性向上についても
ぜひご相談ください!

一般社団法人

福井県中小企業診断士協会



<http://www.sindan-fukui.jp/>

〒910-0804 福井県福井市高木中央3-1001 2F

TEL.0776-53-8539 FAX.0776-97-8773 info@sindan-fukui.jp